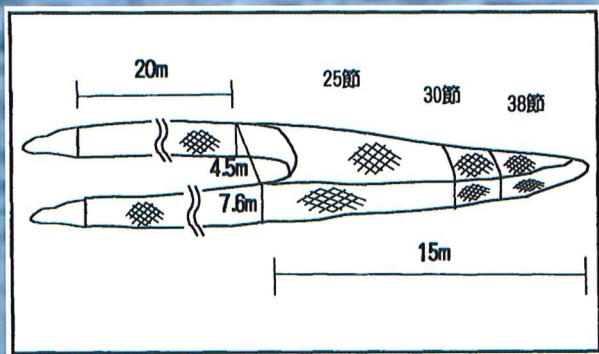


冬の沖曳網漁調査

沖曳網漁(ちゅうびきあみりょう)*で採れた魚の魚種と尾数を記録します。魚の仕分けを一緒にやりませんか。
同定の勉強にもなりますよ。調査後は料理して美味しく食べます。
沢山のご参加をお待ちしています。



日 程
14:00 作業解説
14:10 作業開始
15:30 仕分け終了調理開始
16:30 試食会
17:00 終了

*沖曳網漁…網漁は琵琶湖の沖合で操業する底引き網の一種。船の動力で引き回さないのが特徴。長いロープのついた袋状網を仕掛け、漁船を固定し、ロープを巻いて網を上上げる。主な漁獲対象はゴリ・モロコ・ワカサギ・イサザ・エビ類。



R8 2/22 SUN

時 間 14:00~16:30

会 場 さざなみタウン

長浜まちづくりセンター調理室

定員30名 要予約

参加費: 一般300円

学生無料 会員無料

NPO法人 近江淡水生物研究所

賛助会員募集中 年会費1,000円

当日入会で参加費が無料になります。



講 師 藤岡 康弘 氏

1954年滋賀県日野町生まれ。農学博士(東京大学)
元滋賀県水産試験場長、現在、琵琶湖博物館特別研究員。
琵琶湖固有種のビワマス、ホンモロコおよびウツセミカジカなどの生態を研究してきた。2025年ビワマスの学名を登録。

小さなびわ湖水族館オサカナラボ



主 催 NPO法人 近江淡水生物研究所 担当: 向田

共 催 未来生物学研究所・小さなびわ湖水族館オサカナラボ

問合せ TEL 050-7107-3438 Email marinsnow812@gmail.com



この事業は夏原グラントの助成を受けて行っています。